

つねとみ 散策マップ

自然と歴史のまち

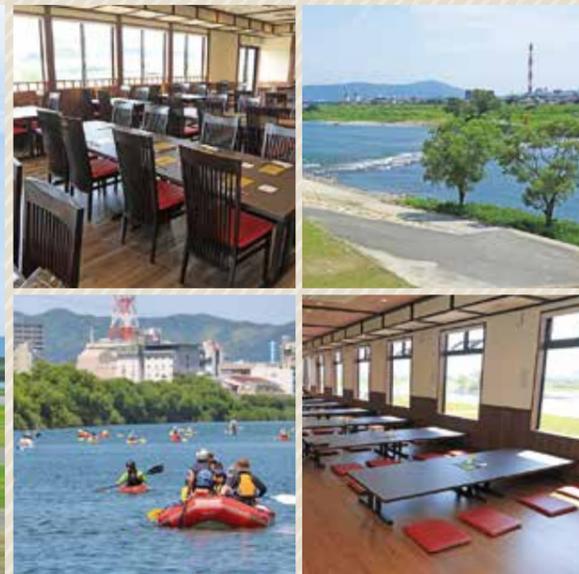
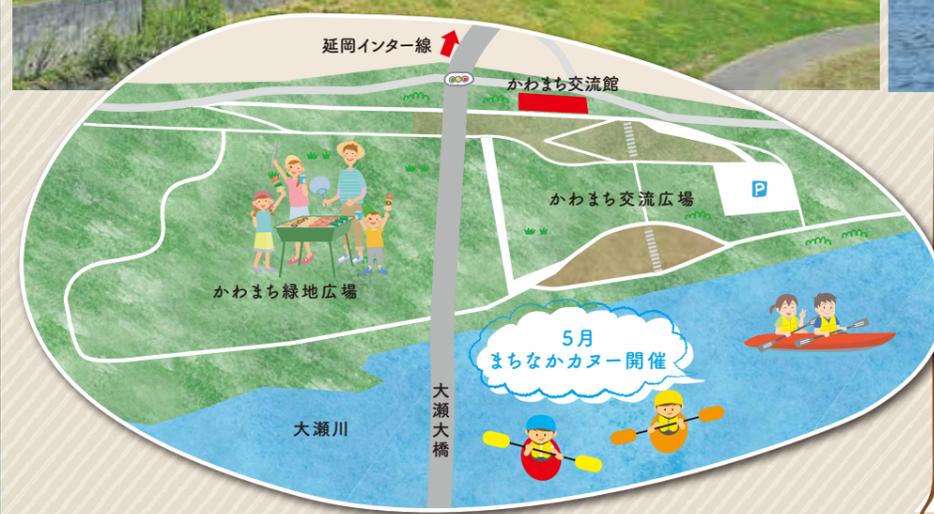
水神さん



春日神社

鮎やな

制作／恒富こどもの水辺協議会



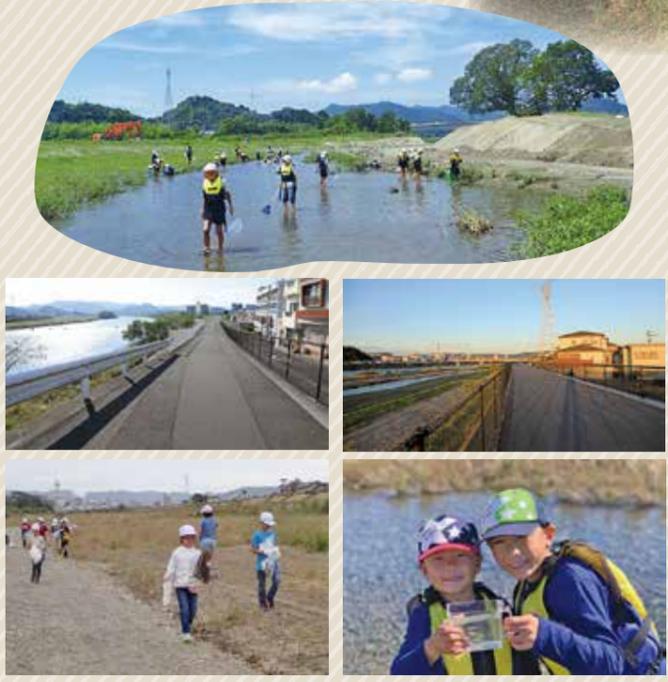
かわまち交流館は、「鮎やな」の食事棟として活用されるほか、鮎やなの時期以外は、一般の飲食店事業者も利用可能です。延岡の食材や料理人を活かすイベントなど、食を通じた市民交流の場として活用できます。

交流館下の河川敷は「かわまち緑地広場」「かわまち交流広場」として美しく整備され、市民の憩いの場になっています。

【施設内容】木造2階建て延べ床面積約593・48㎡。1階に大広間(約112㎡、最大110人収容)と掘りごたつ式の窓際席(約26㎡、30人)、ガラス越しに調理風景が見られる厨房、待合室、観光案内スペース、トイレ。2階に広間(約79㎡、最大80人収容)、更衣室、トイレを完備。

恒富地区の水辺

大瀬川の鮎やな交流館の対岸に位置する、恒富地区の水辺は、ふるさと景色としていつでも心の片隅に残り、みんなに愛される場となるように、自然環境を活かした体験型学習や清掃活動など地域が一体となって行っています。



●九州各県から延岡市へ

- 福岡市 (3時間30分)
- 佐賀市 (3時間30分)
- 長崎市 (4時間30分)
- 熊本市 (2時間30分)
- 大分市 (1時間30分)
- 鹿児島市 (3時間30分)

●かわまち交流館アクセス

- 延岡駅からタクシーで約10分
- 宮崎交通バスセンターから約10分(平の前バス停より徒歩3分)
- 延岡ICから約5分



解説

天守山 (井上城址)

中世、土持氏の居城跡

中世に縣領(あがた:現在の延岡市)を治めた土持氏が築城した初期の城跡。築城は治承元年(1177)土持栄綱(よしつな)という説と、永仁5年(1297)土持国綱(くにつな)の時という説があります。土持全宣(やすのぶ)が永亨元年(1429)に西階城に移るまで居城としていました。

大規模な城郭が存在したことが確認されており、北東から南西にかけて曲輪(くるわ)跡が多く残されています。最高所は標高69メートルと、城山(延岡城)より約16メートル高くなっています。西側は大將軍(だいじょうごん)と呼ばれる大瀬川の深い淵が要害となり、東側は湿田が広がっています。また「古城」の地名が物語るように、現在の延岡高校一帯も城郭が存在していたとみられています。

※曲輪=お城の区画のこと。本丸を囲むようにできていた。

天守山入口

天守山山頂

光明寺

養和元年(1181)、土持栄綱が井上城の鬼門除けとして建立しました。智賢小人を招請して開山したと伝えられています。西階城築城の時に野田に移りましたが、土持氏滅法の後、旧地に戻りました。

境内には壮大な伽藍(がらん)や西国三十三ヵ所の観音像が並ぶ石仏龕(がん)があります。

また、婦人病や安産、子授け、縁結びなど女性に関することにご利益があるとされる淡島明神があり毎年、桃の節句の3月3日に行われている大祭では、火渡りの神事や餅まきが行われます。

※伽藍=お寺の建物のこと

カラミレンガ

西小路の住宅街に数カ所にわたって現存しています。延岡藩主・内藤家が経営していた銅山から出る「カラミ」(鉞滓=こうさい)を使ったレンガで作られています。塀は2軒分を仕切って建てられており、その間はヒトツバの生け垣で仕切られています。

周辺にはかつて内藤家にゆかりのある屋敷や施設が建ち並んでいたと言われ、古くを知る住民は周辺を「武家屋敷」と親しみを込めて呼んでいたそうです。

春日神社

養老2年(718)11月25日創建。当時の守護・大納言惟資(これすけ)が神殿を建立し、春日大明神と尊称したのが始まりとされています。天孫ニニギノミコトの降臨時に、随行したアメノコヤネノミコト、タケミカヅキノミコトらを祀り、大昔は「荒瀬宮」と称していました。

明治4年(1871)に恒富神社に改称しましたが、昭和43年(1968)に氏子の熱望により古来の社名「春日神社」に復元し、住民から「春日さん」と親しまれています。

社殿の両側に天高くそびえる楠の御神木は、向かって右側が幹周り10メートルを超え、「みやぎの巨樹百選」に選ばれています。左側も幹周り8・5メートルで、いずれも樹齢850年以上とされています。

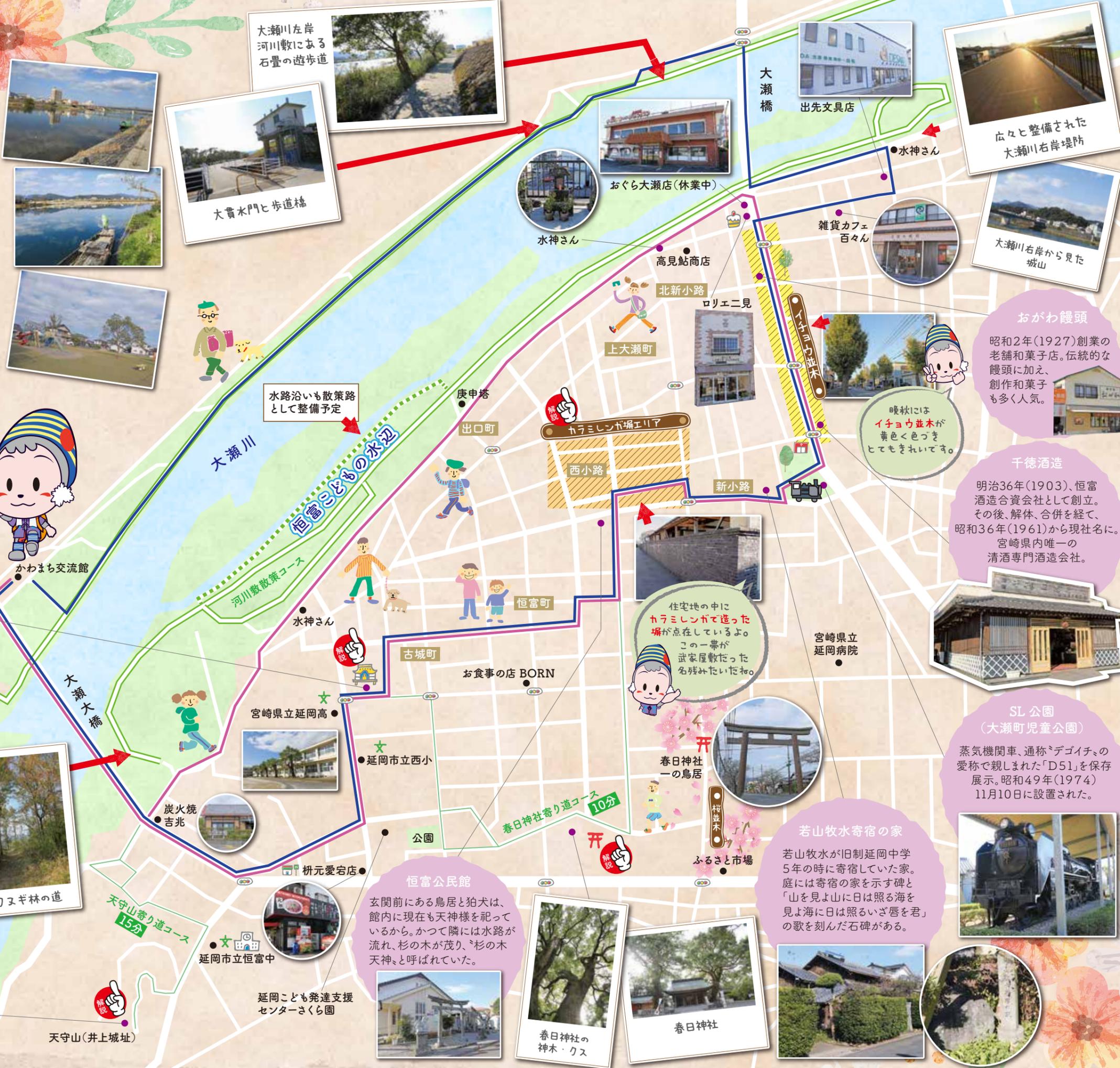
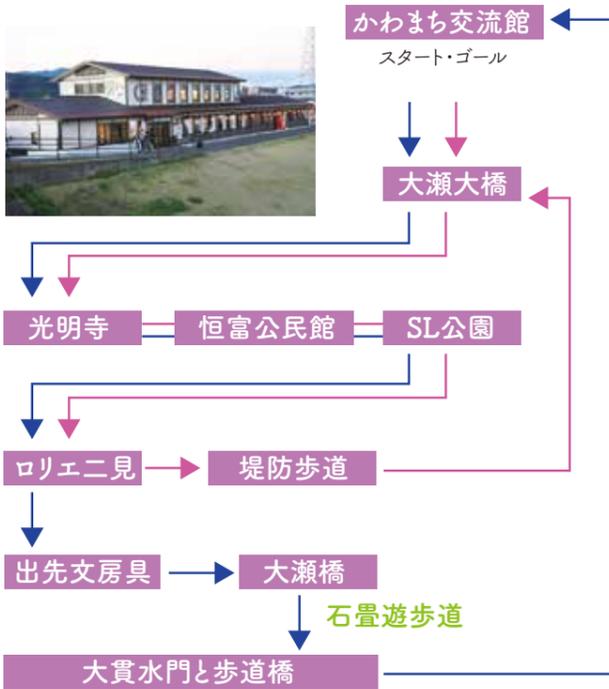
春日神社

春日神社の神木・クス

※この事業は「平成30年度 延岡市市民まちづくり活動支援事業」の補助を受けています。

コース案内

- ▶ 1時間40分コース 約5km
- ▶ 1時間10分コース 約4.7km
- ▶ 寄り道コース



光明寺

養和元年(1181)に建立された真言宗のお寺。境内には西国三十三カ所観音堂や、安産の神様・淡島大明神の社も。

天守山 (井上城址)

中世に縣領(現在の延岡市)を治めた土持氏が築城した初期の城跡。「古城」の地名の元になったとされる。

天守山入口

天守山山頂

かわまち交流館

大貫水門と歩道橋

水神さん

住宅地の中にカラミレンギで造った塙が点在しているよ。この一帯が武家屋敷だった名残みたいだね。

晩秋にはイチョウ並木が黄色く色づきとてもきれいです。

SL公園 (大瀬町児童公園)

蒸気機関車、通称「デゴイチ」の愛称で親しまれた「D51」を保存展示。昭和49年(1974)11月10日に設置された。

若山牧水寄宿の家

若山牧水が旧制延岡中学5年の時に寄宿していた家。庭には寄宿の家を示す碑と「山を見よ山に日は照る海を見よ海に日は照るいざ唇を君」の歌を刻んだ石碑がある。

おがわ饅頭

昭和2年(1927)創業の老舗和菓子店。伝統的な饅頭に加え、創作和菓子も多く人気。

千徳酒造

明治36年(1903)、恒富酒造合資会社として創立。その後、解体、合併を経て、昭和36年(1961)から現社名に。宮崎県内唯一の清酒専門酒造会社。

恒富公民館

玄関前にある鳥居と狛犬は、館内に現在も天神様を祀っているから。かつて隣には水路が流れ、杉の木が茂り、杉の木天神と呼ばれていた。

春日神社の神木・クス

春日神社